



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6090 URL http://humanmetabolome.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅野 隆二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 村上 秀明 (TEL) 03-3551-2180
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	242	18.8	△141	—	△132	—	△135	—
26年3月期第2四半期	203	—	△82	—	△59	—	△60	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △134百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △59百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△25.76	—
26年3月期第2四半期	△15.65	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しているものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、平成25年10月16日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,632	—	1,447	—	88.7	—
26年3月期	1,759	—	1,548	—	88.0	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,447百万円 26年3月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780	27.8	△30	—	41	587.6	31	—	5.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	5,272,300株	26年3月期	5,173,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	一株	26年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	5,244,839株	26年3月期2Q	3,885,000株

(注) 当社は、平成25年10月16日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社の決算補足説明資料は決算発表後に、平成26年11月15日（土）開催予定の個人投資家向け説明会及び平成26年11月20日（木）開催予定の機関投資家・アナリスト向け説明会の配布資料を説明会開催後速やかに当社ウェブページ (<http://humanmetabolome.com/ir/library>) に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外の景気に対する不透明感は依然として残るものの、経済成長を目指した政府の各種政策により企業収益が改善傾向にあり、雇用情勢に対する明るい展望が期待されるなど緩やかながら回復基調が続いております。

当社が属するライフサイエンス業界においては、遺伝子解析分野での事業提携や買収が行われる等、個別化医療や予防医療の実現に向けた取り組みが活発になっております。また労働安全衛生法の一部改正によるストレスチェック義務化に向け、法人向けのうつ病の早期診断支援サービスが増加する等、メンタルヘルス対策への関心が高まっています。

このような状況の中、当社グループはセミナーやキャンペーンを中心に積極的な販促活動を継続的に展開した他、大うつ病性障害及び肝疾患のバイオマーカー開発を進めるとともに、営業体制強化のための人材育成に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は242,049千円（前年同期比18.8%増）、営業損失は141,616千円（前年同期は82,995千円の営業損失）、経常損失は132,462千円（前年同期は59,431千円の経常損失）、四半期純損失は135,122千円（前年同期は60,816千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの状況を示すと、次のとおりであります。

① メタボローム解析事業

営業担当者の増員や研究員による支援活動を効果的に活用する等の営業体制強化に取り組んだ他、セミナー等を51回開催し医薬分野での販促に注力しました。この結果、売上高は184,816千円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は62,057千円（前年同期比18.2%減）となりました。

なお、当社グループのメタボローム解析事業は、季節的な要因として多くの顧客の年度末にあたる当社第4四半期連結会計期間に売上高、利益ともに大きくなる傾向にあります。

② バイオマーカー事業

大うつ病性障害のバイオマーカー開発においては、体外診断用医薬品開発に向けた開発が概ね計画どおり進捗した他、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構（NEDO）からの助成金を活用した肝疾患のバイオマーカー開発に取り組みました。この結果、売上高は5,030千円（前年同期比34.1%増）、セグメント損失は36,433千円（前年同期は27,661千円のセグメント損失）となりました。

③ メタボロミクスキット事業

大学向けにメタボロミクスキットを3システム販売した他、試薬や限外ろ過フィルターの販売が堅調に推移した結果、売上高は27,932千円（前年同期比130.0%増）、セグメント利益は10,401千円（前年同期は2,000千円のセグメント損失）となりました。

④ 人材派遣事業

大学向けに研究者、技術者等を派遣し、売上高は24,270千円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益は1,334千円（前年同期比23.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,471,768千円となり、前連結会計年度末に比べ184,971千円減少しました。これは、現金及び預金が151,848千円、売掛金が44,943千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は160,442千円となり、前連結会計年度末に比べ57,853千円増加しました。これは、工具、器具及び備品が70,586千円増加し、有形固定資産の減価償却累計額が25,679千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は131,445千円となり、前連結会計年度末に比べ14,509千円減少しました。これは、1年内返済予定の長期借入金が30,000千円減少したものの、その他に含め表示している未払費用が増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は53,152千円となり、前連結会計年度末に比べ12,083千円減少しました。これは、長期借入金が8,520千円、リース債務が7,309千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,447,613千円となり、前連結会計年度末に比べ100,524千円減少しました。これは、新株予約権の行使により資本金が17,023千円、資本剰余金が16,959千円増加したものの、四半期純損失135,122千円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ151,684千円減少し、1,357,701千円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは53,122千円の支出となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失132,462千円の計上、売上債権の減少45,320千円、減価償却費30,900千円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは86,991千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出92,773千円、敷金の回収による収入6,658千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは11,846千円の支出となりました。これは主に長期借入金の返済による支出38,520千円、株式の発行による収入33,795千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月12日に公表いたしました平成27年3月期第2四半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じており、差異の内容は次のとおりであります。

① 第2四半期連結業績予想数値と実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	242	△164	△163	△161	△30.66
今回実績(B)	242	△141	△132	△135	△25.76
増減額(B-A)	△0	22	30	25	—
増減率(%)	△0.0	—	—	—	—

② 差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、営業体制強化に取組み、積極的な販促活動を展開した結果、概ね予想の範囲内で推移いたしました。

利益面につきましては、営業担当者増員のための採用関係費用が想定を下回ったことや、独立行政法人新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)からの助成金を活用した肝疾患のバイオマーカー開発において試薬合成や抗体作成にかかる研究開発費用の一部が下期にずれ込んだこと等により、営業損失、経常損失及び四半期純損失ともに前回の予想より縮小いたしました。

③ 通期連結業績予想について

当社は、例年第4四半期に売上高の計上が集中する傾向にあり、また当第2四半期において予想より損失が縮小いたしました。上述のとおり一部の経費が下期にずれ込むこと等から、通期の業績については概ね計画通り推移するものと見込んでおります。したがって、通期の連結業績予想につきましては、平成26年6月12日公表のとおりといたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	909,366	757,517
売掛金	122,259	77,315
有価証券	600,019	600,183
商品	476	4,216
仕掛品	65	2,391
原材料及び貯蔵品	9,250	5,919
その他	15,428	24,231
貸倒引当金	△126	△7
流動資産合計	1,656,739	1,471,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,990	17,688
工具、器具及び備品	148,525	219,112
リース資産	90,986	108,061
減価償却累計額	△170,358	△196,038
有形固定資産合計	84,144	148,823
無形固定資産	6,602	6,002
投資その他の資産	11,842	5,615
固定資産合計	102,589	160,442
資産合計	1,759,329	1,632,210
負債の部		
流動負債		
買掛金	4	5
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	47,040	17,040
リース債務	14,337	14,524
未払法人税等	9,622	3,993
その他	54,951	75,882
流動負債合計	145,955	131,445
固定負債		
長期借入金	31,460	22,940
リース債務	23,243	15,933
繰延税金負債	608	1,304
資産除去債務	9,518	11,725
その他	404	1,247
固定負債合計	65,235	53,152
負債合計	211,191	184,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,216,407	1,233,431
資本剰余金	1,205,188	1,222,147
利益剰余金	△880,475	△1,015,598
株主資本合計	1,541,120	1,439,980
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	7,017	7,632
その他の包括利益累計額合計	7,017	7,632
純資産合計	1,548,137	1,447,613
負債純資産合計	1,759,329	1,632,210

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	203,700	242,049
売上原価	88,261	107,151
売上総利益	115,438	134,898
販売費及び一般管理費	198,434	276,514
営業損失(△)	△82,995	△141,616
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	371
補助金収入	25,766	1,259
移転補償金	—	8,471
その他	190	236
営業外収益合計	25,973	10,338
営業外費用		
支払利息	1,512	909
その他	895	273
営業外費用合計	2,408	1,183
経常損失(△)	△59,431	△132,462
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,431	△132,462
法人税、住民税及び事業税	1,484	1,964
法人税等調整額	△99	695
法人税等合計	1,385	2,659
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,816	△135,122
四半期純損失(△)	△60,816	△135,122

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,816	△135,122
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,556	614
その他の包括利益合計	1,556	614
四半期包括利益	△59,260	△134,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△59,260	△134,507
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△59,431	△132,462
減価償却費	17,576	30,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△139	△119
受取利息及び受取配当金	△16	△371
支払利息	1,512	909
補助金収入	△25,766	△1,259
移転補償金	-	△8,471
売上債権の増減額(△は増加)	25,088	45,320
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,107	△2,735
仕入債務の増減額(△は減少)	420	1
前払費用の増減額(△は増加)	△4,124	△11,024
前受収益の増減額(△は減少)	456	10,577
前受金の増減額(△は減少)	18,693	11,016
未払金の増減額(△は減少)	△4,838	△2,256
未払費用の増減額(△は減少)	7,881	11,789
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,841	△9,644
預り金の増減額(△は減少)	△2,973	95
その他	1,182	△1,789
小計	△36,424	△59,523
利息及び配当金の受取額	16	371
利息の支払額	△1,746	△868
補助金の受取額	25,766	2,910
補助金の返還額	△49	△54
移転補償金の受取額	-	9,350
法人税等の支払額	△2,157	△5,308
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,593	△53,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,479	△92,773
無形固定資産の取得による支出	△3,027	△600
敷金の差入による支出	-	△276
敷金の回収による収入	161	6,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,345	△86,991
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	20,000	20,000
短期借入金の返済による支出	△60,000	△20,000
長期借入れによる収入	40,000	-
長期借入金の返済による支出	△9,940	△38,520
株式の発行による収入	-	33,795
リース債務の返済による支出	△6,939	△7,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,879	△11,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	991	275
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△36,827	△151,684
現金及び現金同等物の期首残高	202,168	1,509,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	165,341	1,357,701

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	メタボロミクス キット事業	人材派遣事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	163,525	3,750	12,145	24,279	203,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	163,525	3,750	12,145	24,279	203,700
セグメント利益又は損失 (△)	75,821	△27,661	△2,000	1,750	47,910

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	47,910
全社費用(注)	△130,906
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△82,995

(注) セグメント利益の全社費用△130,906千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	メタボローム 解析事業	バイオマーカー 事業	メタボロミクス キット事業	人材派遣事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	184,816	5,030	27,932	24,270	242,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	269	—	128	—	397
計	185,086	5,030	28,060	24,270	242,447
セグメント利益又は損失 (△)	62,057	△36,433	10,401	1,334	37,359

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上	金額
報告セグメント計	242,447
セグメント間取引消去	△397
四半期連結財務諸表の売上高	242,049

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	37,359
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△178,981
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△141,616

(注) セグメント利益の全社費用△178,981千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
メタボロミクスキット事業	7,731	258.1
合計	7,731	258.1

- (注) 1. 金額は、販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、メタボロミクスキット事業のうち、試薬キットに係る部分を記載しております。
 3. メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上生産として把握することが困難であるため、記載しておりません。

② 仕入実績

仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
メタボロミクスキット事業	11,220	125.0
合計	11,220	125.0

- (注) 1. 金額は、仕入価格によっており、消費税等は含まれておりません。
 2. 上記の金額には、メタボロミクスキット事業のうち限外ろ過フィルターに係る部分を記載しております。
 3. メタボローム解析事業、バイオマーカー事業及び人材派遣事業については、業務の性質上仕入として把握することが困難であるため、記載しておりません。

③ 受注実績

受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
メタボローム解析事業	310,067	114.3	177,455	116.1
バイオマーカー事業	—	—	4,969	23.4
メタボロミクスキット事業	23,328	153.8	9,342	185.0
合計	333,396	107.0	191,768	107.1

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。
 2. 人材派遣事業については、業務の性質上受注として把握することが困難であるため、記載しておりません。

④ 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
メタボローム解析事業	184,816	113.0
バイオマーカー事業	5,030	134.1
メタボロミクスキット事業	27,932	230.0
人材派遣事業	24,270	△0.0
合計	242,049	118.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。